

本号の特集「小腸疾患に対する最新の内視鏡臨床」を皆様の元にお届けする。思い返せば、私が初めてダブルバルーン内視鏡に出会ったのは医師になって6年目、2001年6月のことである。初期研修と離島診療所での3年間の僻地勤務の後、母校の医局で山本博徳先生の隣に机をもらい、臨床導入が始まったばかりのダブルバルーン内視鏡を手伝った。当時は、部品から手作業でオーバーチューブをくみ上げ、血圧計を頼りにシリンジと三方活栓でバルーンを操作するという大変な検査だったが、何年も不明だった消化管出血の原因が10年程前の外科手術による盲係蹄症候群と解明でき、感動したのを覚えている。あれから20年以上の時間が流れ、機器の改良とともに小腸疾患の診断・治療は着々と進歩してきた。本特集では小腸内視鏡の適応の拡がり、機器の進歩、用語の変遷、小腸出血や小腸腫瘍の診断・治療戦略をまとめていただいた他、個別の病態として Heyde 症候群の詳細、クローン病のモニタリングとバルーン拡張術、家族性大腸腺腫症の小腸病変に対する治療、Peutz-Jeghers 症候群の小児を含めた治療、慢性偽性腸閉塞症に対する PEG-J 治療に関して、詳しく解説していただいた。最新の知見や知識の整理に役立つ内容が多く、読み応えのある特集になったと感じている。本特集がきっかけとなり、患者さんの診断・治療につながれば幸いである。

(矢野 智則)

臨牀 消化器内科®

Vol. 39 No. 12

©2024 年 10 月 20 日発行

定価 3,300 円

(本体 3,000 円 + 税 10%)

・2024 年 年間購読料(増刊号含む 13 冊, 税込)

冊子版 43,450 円

電子版(個人のみ)43,450 円

冊子版 + 電子版(個人のみ)48,950 円

(詳しくはホームページをご覧ください)

・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社までお申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

ホームページ <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2024. Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所/株式会社 文栄社

〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話 03-3814-8541